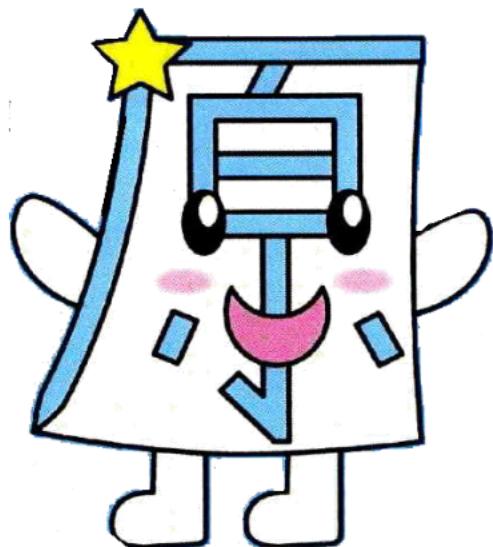


原地区 防災について

～ 地域の人の命を救おう ～



わたしたち原小学校5年生は、4月から様々な災害について学び、それらの災害から身を守るために、どのような行動をすればよいか考えてきました。

そうした中で、自分たちだけでなく、原地区に住むすべての人の命を守りたいと考えるようになりました。

このホームページがその助けになれば、うれしいです。

2024.8.28

原小学校 5年生作成

山口県の過去の災害について



山口県では、今までにも大雨による「土砂災害」や「洪水」、台風による「高潮」などの災害が起こってきました。宇部市でも、過去に何度か大きな災害に襲われました。

私たちは、過去の災害の反省を生かし、災害への対策を考える必要があります。

平成11年(1999年) 9月21日～25日

【台風18号】

- ・台風18号は、中型で強い勢力を保ったまま熊本県北部に上陸し、その後、宇部市に再上陸した。
- ・台風の上陸が大潮の満潮と重なったため、記録的な高潮となった。
- ・山口宇部空港沖側の防潮堤の一部が倒壊、滑走路は完全に冠水し、空港ターミナルビルが1.2mほど海水につかった。



山口宇部空港駐車場



宇部駅近くの様子

平成21年(2009年) 7月19日～31日

【中国・九州北部豪雨】

- ・山口県の北上を南下する梅雨前線に温かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が非常に活発となり大雨となった。
- ・3日間で、7月の月間降水量平年値に相当する大雨となり、大規模な土石流や河川の氾濫などを引き起こした。



国道262号線（防府市）

災害に備えて
できることは
なんだろう？

参考 山口県ホームページ「災害教訓事例集」



ハザードマップについて

みなさんはハザードマップを知っていますか。災害で危険な地域を事前に知らせてくれる便利なものが、ハザードマップです。ハザードマップがないと大変な災害の時に逃げ遅れてしまうかもしれませんし、そもそもここが危険なのかどうかもわかりません。なので、ハザードマップは災害が来る前に見るようになります。

原地区の地形の特徴

- (1) 東須恵 (第一原・中原・岡田屋など)
・標高 10~30m位の台地 ⇒ **高台**

- (2) 妻崎開作 (新開作東・西・西割・浜崎など)
・標高 0~2m位で江戸時代は海 ⇒ **低地**

高潮
ハザードマップ



洪水
ハザードマップ



災害や住んでいるところに合わせて、避難の仕方を考えておきましょう。



引用「宇部市公式ウェブサイト」

ハザードマップについて

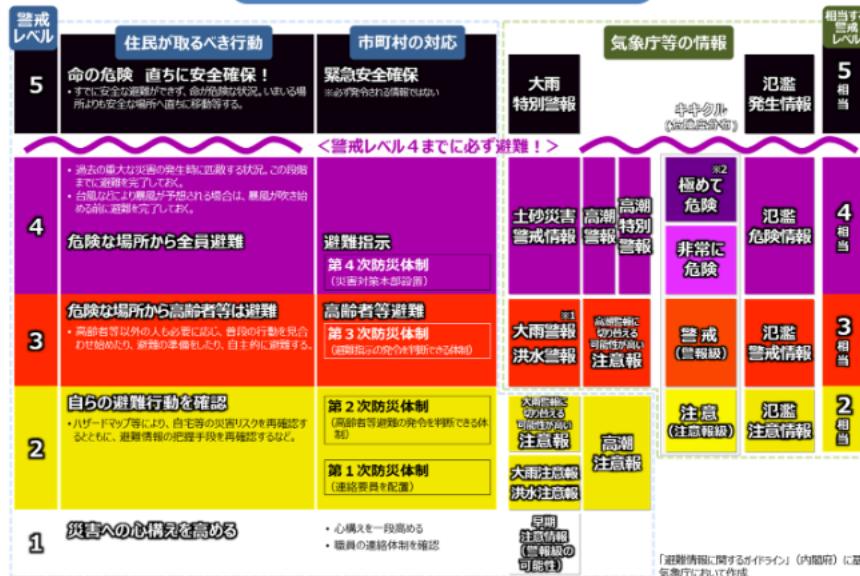
私たちは、原地区の避難場所や避難経路について調べました。
みなさんは、原地区で災害が起きた時の避難場所は知っていますか。
原地区には、災害の種類によって、避難場所になる場所が決まっています。
下の図を見て、確認しておきましょう。

原地区避難場所

	洪水	内水	ため池	土砂災害	高潮	津波	ゆれやすさ
原小学校	○	○	○	○	○	○	○
原ふれあいセンター	×	×	×	○	×	○	×
岡田屋公会堂	○	○	○	○	○	○	×
光陽台自治会館	○	○	○	○	○	○	×
若山自治会館	○	○	○	○	○	○	×

危険度を表すもの

5段階の警戒レベルと防災気象情報



災害には5段階の警戒レベルがあります。
警戒レベルが低いからと油断をせずに、
いつでもすぐに避難できるように、避難場所を確認したり、防災グッズの準備をしておきましょう。

また、普段から地域の人とつながりをもっていることが、一番の防災につながります。

防災グッズについて

防災グッズは、災害時に自分や家族の命を守るために必要な備えです。日頃から「防災グッズ」を用意しておくことで、避難が必要になった場合も迅速な行動へつながります。

災害時の備えには、3段階に分けた準備が効果的と言われています。「携帯用」「すぐに避難する用」「避難所・在宅避難用」の3つです。

防災グッズに必要なもの

携帯用の防災グッズリスト

- 飲み物
- 食品
- 携帯充電器
- 小型の懐中電灯
- 防犯ブザーや笛
- イヤホン
- 家族・ペットの写真
- ペン・ノート
- 救急用品
- ハンカチ・ティッシュ

- ウェットティッシュ
- マスク
- 貴重品
- 必需品



長期避難・在宅避難するときに必要なもののリスト

- 水
- 食品
- 使い捨て食器類
- カセットコンロ・ガスボンベ
- 給水袋
- 常備薬・持病薬
- 救急用品
- ハンカチ・ティッシュ
- ウェットティッシュ
- 消毒液
- マスク
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- 衣類
- LEDランタン
- 乾電池
- 手回し充電ラジオ
- 防災用ホイッスル
- ペン・ノート
- 簡易トイレ
- スリッパ
- ブランケット
- 印鑑
- 紙のハザードマップ
- 軍手・布粘着テープ
- 貴重品
- 必需品



避難するときに持ち出すもののリスト

- 水
- 食品
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- レインウェア
- 靴
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品
- 使い捨てカイロ
- ブランケット
- 軍手
- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ペン・ノート
- 防犯ブザー／ホイッスル

- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計
- 貴重品
- アイマスク・イヤホン
- 折りたたみマット
- メガネ
- 常備薬・持病薬

- ネックライト
 - 抱っこひも
 - 子どもの靴
- 女性の備え
- 生理用品
 - サニタリーショーツ
 - おりものシート
 - 中身の見えないごみ袋



高齢者がいる家庭の備え

- 大人用紙パンツ
- 介護食
- デリケートゾーンの洗浄剤
- 杖
- 入れ歯・洗浄剤
- 補聴器
- 吸水パッド
- お薬手帳のコピー



必要な物は、各家庭によつて異なります。話しあって、準備しておきましょう。

地域（原地区）の取り組みについて



引用

原地区自主防災会

昭和17年に台風で堤防が崩れて水が押し寄せてき、たくさんの家が流されました。

この台風で死者228人のかたが亡くなられました。この台風のことで2004年に「自主防災組織」というものが作されました。

自主防災組織とは、地域住民が協力して、「自分たちの地域を自分たちで、守る」ために立ち上げられる組織です。

原地区にも、自主防災会というものがあり、中心となって以下のような「防災」への取り組みを進めている。

- 緊急連絡網の活用
- 要支援者への避難支援
- 防災用具の準備・管理
- 緊急避難場所の開設・運営
- 防災訓練
- 防災士による防災計画の策定

防災フェスタ



原地区では、毎年9月1日の防災の日に合わせて「防災訓練」が行われています。2023年9月、親子で参加し、楽しみながら防災意識を高めてもらおうと、従来の訓練形式ではなく、初めてイベント型で原地区防災フェスタが開催されました。

原小の児童や保護者の方もたくさん参加して、消火器の的当てや消防車、煙内通行体験、非常食試食などのもりだくさんの企画を楽しみました。

みなさんもぜひ参加してみてください。地域の方とつながっておくことが一番の防災となります。

引用 原小学校ホームページ

みんなで
助け合おう！

